

北九州市文化芸術推進プラン骨子(最終案)

- 時代環境の変化が激しいことを踏まえ、個別具体的な事業レベルではなく、文化芸術が目指す大きな方向性を定め、行政や関係団体、企業や市民とベクトルを合わせるためのプランとする
- 新ビジョンの3つの重点戦略を踏まえ、都市ブランドを「築く・つなぐ・輝かせる」の3つの柱で施策を取りまとめ、基本理念の実現に取り組む

《基本理念》 目指す姿

まちに彩りを。心に豊かさを。多様な人を惹きつける文化共創都市

北九州市の多彩な文化芸術の力を最大限発揮させることで、まちの魅力を高め、多様な人々を惹きつけ、都市の成長につなげるとともに、誰もが文化芸術を通じてウェルビーイングを実現できる文化都市を目指し、市民や団体・企業等と行政が一丸となって新たな価値を共に創ります

《3つの柱》 全体イメージ

まちの多彩な魅力を磨き、都市ブランドを築く

- ・まちなかアート
- ・7区の個性の磨き上げ
- ・ナイトタイムエコノミー
- ・祭りや伝統行事の磨き上げ

➡ 「彩りあるまち」の実現

まちに彩りを
生み出す

「市民の幸福」と
「まちの成長」
の好循環

ウェルビーイングを育み、都市ブランドを未来へつなぐ

- ・次世代の育成
- ・市民活動の支援
- ・インクルーシブな文化芸術
- ・多世代交流

豊かな心と
活力を育む

➡ 「安らぐまち」の実現

都市ブランドを輝かせ、まちへの期待と注目を集める

- ・エンタメコンテンツ
- ・食文化の活用
- ・漫画や映画などの魅力
- ・文化観光の推進

➡ 「稼げるまち」の実現

多様な人を
惹きつける

○ 計画期間:5年間(R7.4.1~R12.3.31)

《 3つの柱に基づく各施策の方向性 》

文化芸術の力で「まちに彩りを生み出す」

(1)多彩で質の高い文化芸術に触れる機会の確保

- 身近なまちのいたるところで文化芸術に親しむ機会の創出
- 文化芸術と異分野とのコラボによる魅力ある空間の創出
- 若者や働く世代のニーズを踏まえた、ナイトタイムエコノミーの推進

(2)地域の魅力的な文化資源の磨き上げ

- 都市ブランドを醸成する、7区の個性ある文化資源の磨き上げ
- 各地域の多彩な祭りや伝統行事の磨き上げや情報発信
- 市民の宝である、地域独自の伝統文化や文化財の保存・継承・活用

文化芸術の力で「豊かな心と活力を育む」

(1)次世代を担う子ども・若者の文化芸術体験の充実

- 学校や地域と連携した文化芸術体験等、社会全体で子どもの感性や創造性を育む取組
- 文化芸術を通じたグローバルに活躍する人材の発掘・育成
- 多様な機会と手法を織り交ぜた、若い世代が郷土の歴史や文化芸術に興味を持つきっかけづくり

(2)誰もが文化芸術に親しみ楽しめる環境づくり

- 性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず、誰もが自分らしく楽しめるインクルーシブな文化芸術の推進
- 市民の文化活動の支援と地域独自の文化芸術に接する機会の確保
- 多世代交流に加えて、生涯学習や生きがいづくり、健康寿命の延伸などにつながる、持続的に活動できる環境づくり

文化芸術の力で「多様な人を惹きつける」

(1)多世代を惹きつける発信力の高い文化芸術の推進

- 時代環境やニーズの変化に応じた、集客力が高く、全国から多様な人が集まる文化芸術の取組
- エンタメコンテンツなど、まちへの注目を惹きつける取組
- 漫画や映画を含むポップカルチャーなどの魅力を活用した、発信力の高い取組

(2)地域の魅力的な資源を活かした文化観光の推進

- 世界遺産・日本遺産・小倉城等の歴史資源や各種ミュージアムの活用、民間事業者との連携による文化観光の推進
- 寿司や焼肉など新たに注目を集める食文化を活用した、北九州市ならではの文化観光の推進
- 外国人目線に立ったコンテンツの発掘や磨き上げ、感動的で記憶に残るストーリー化によるインバウンド観光の振興

彩りあるまち 文化芸術を身近に感じる市民の割合
【30.5%(R4) → 40%(R11)】

安らぐまち 文化芸術活動をした市民の割合
【16.9%(R4) → 30%(R11)】

稼げるまち 観光消費額
【827億円(R4) → 1,800億円(R10)】
〔「北九州市基本計画」で設定済の目標〕

成果指標

全体

文化のかおるまちと思う市民の割合 【28.5%(R4) → 40%(R11)】